

## 学習内容報告書 フォーマット

学校名	佐渡市立内海府小学校
授業者	大沼 優紀・島田 章弘・土屋 絵美

### 1. 単元計画

予定期間：4月～3月

- 4・5月：総合的な学習の時間の学習課題の設定
- 6月：魚さばき体験，地域探訪，乗船体験，海岸清掃
- 7月：大謀網見学，サザエ突き体験
- 8・9月：シーカヤック体験，たこさびき体験
- 10月：かるた製作開始，
- 12月：親子料理教室（地域に伝わる魚料理を一緒に作る）
- 2月：かるた完成，地域の方々との交流活動，活動の振り返り
- 3月：わかめ採り，わかめの標本作り，いごねり作り体験

#### 1-1. 単元名

海と親しみ，海を知り，海府地区の魅力を発信しよう！

#### 1-2. 学年

1・4・6年生

#### 1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間，生活科，図画工作科，国語科，理科，社会科，家庭科

#### 1-4. 単元の概要

- 1 海と親しむ活動・体験活動
  - ・魚さばき体験，サザエ突き体験，たこさびき体験，大謀網漁の見学，親子料理教室，いごねり作り体験など
- 2 海を知る活動
  - ・海岸清掃
  - ・漁師さんの仕事について知る，学ぶ
  - ・大謀網漁について学ぶ
- 3 海の恵みを発信する活動
  - ・海府地区の海の魅力をカルタにまとめる。
  - ・指導者から助言を受け，内容や表現をよりよいものにする。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

本校は佐渡島の北端に位置し、校区全ての集落が海に面しており、保護者が漁業に携わっている家庭が7割近い。地元で採れる海藻や魚介類は、毎月数回学校給食に提供され、児童の関心も高い。12月の「寒ぶり大漁まつり」には、毎年全校児童が参加し、活動紹介をしている。この他にも、年間を通し、海にかかわる体験活動を継続して行っている。

そこで今年度は、地域の海からの贈り物について1年を通して学び、学習の成果を発信する活動を行っていく。学習した成果を、島内外の小学生等に発信することで、地域への理解を一層深め、愛着と誇りをもつことができると考える。これらの活動を通して、地域の魅力を島内や県内の小学生に自信をもって語れる子どもを目指していきたい。

また、小・中学校で連携した学習を行い、地域や関係者とともに「自らを鍛え、地域で磨かれる子どもが育つ学校づくり」を推進していく。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

・知識及び技能

海府地区の海は、美しく、多くの海産物に恵まれていることを知る。

・思考力、判断力、表現力等

海府地区の魅力を伝えるために、自分たちにできることは何かを考えることができる。

どのような表現をすれば、より海府地区の魅力が伝わるカルタとなるかを考え、製作することができる。

・学びに向かう力、人間性等

海府地区の多くの魅力に気付き、地域への愛着と誇りをもつ。そして、それらの魅力を守っていくために自分にできることを考え、実行していこうとする。

1-7. 単元の展開（全70時間）

時数	学習活動・主な内容	○教師の指導 / ☆主な評価 □外部連携 / 使用教材等
1 2	○学習課題を設定する ・これまで行ってきた活動について共有し、今思う海府地区の魅力を確認する。 ・今後、自分たちが行ってみたい活動等について考える。	○これまでの児童の経験とも関連させながら、児童が興味をもっている活動や内容について共有させる。 ○島内外の情報も集めることで、他の学校にはない体験ができていることを感じさせる。 ☆海府地区の魅力を自分なりに考えている。
3 4 5	○魚さばき体験 ・海府地区で獲れる海の幸を知る。 ・ゲストティーチャーから、魚のさばき方を教わり、実際にさばく。 ・自分たちでさばいた新鮮な魚介類を食べ、食べ物のありがたさを感じる。	□ゲストティーチャー（地元の漁師さん）を招き、漁場で体験をする。 ☆自ら魚をさばくことで、海府で獲れる海の幸を知り、海府地区が海産物に恵まれた土地だということに気付く。

6 7 8	<p>○地域探訪（藻浦～大野亀）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域を散策することで、自然の豊かさや海のきれいさを知る。</li> <li>・ゲストティーチャーからのお話を聞き、地域の歴史について知る。</li> </ul>	<p>□ゲストティーチャー（地域の方）を招き、一緒に散策をしながら、解説をしていただく。</p> <p>☆校区の自然の豊かさを知り、地域の歴史について理解を深めている。</p>
9 10	<p>○わかめ養殖準備見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかめがどのようにして養殖されているのかを実際に見学をして知る。</li> </ul>	<p>□ゲストティーチャー（地元の漁師さん）を招き、説明をしながら作業をしていただく。</p> <p>☆普段食べているわかめがどのようにして養殖されているのかを理解している。</p>
11 12	<p>○海岸清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学区にある二ツ亀海水浴場の清掃ボランティアを行う。</li> <li>・海岸にはごみが多くあり、汚れていることを感じ、自分たちにできることを考える。</li> </ul>	<p>□ゲストティーチャー（佐渡海上保安署・巡視艇ときくさ職員）と一緒に清掃活動を行う。</p> <p>☆海岸清掃に意欲的に取り組んでいる。</p>
13 14	<p>○大謀網漁見学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷺崎漁港の漁師さんたちが行っている大謀網漁を見学し、漁師さんたちの仕事について知る。</li> </ul>	<p>□内海府漁業組合の方々に協力を依頼し、見学を行う。</p> <p>☆普段食べている魚がどのようにして、獲れているかを知り、漁師さんたちの仕事について理解を深めている。</p>
15 16	<p>○漁師さんの仕事体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁船に乗り、漁をしている海を見る。</li> <li>・網にかかった魚を外し、出荷の準備をする。</li> </ul>	<p>□ゲストティーチャー（地元の漁師さん）に協力を依頼する。</p> <p>☆漁師さんの仕事について理解を深めている。</p>
17 18	<p>○サザエ突き体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとって身近であるサザエはどのようにして捕っているのかを知る。</li> <li>・疑似体験を行う。</li> </ul>	<p>□ゲストティーチャー（地元の漁師さん）に協力を依頼する。</p> <p>☆実際に体験することで、サザエを獲る大変さや難しさを感じ、漁師さんの仕事について理解を深めている。</p>

19	<p>○1学期の活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで体験してきた活動を通して、それぞれが感じた海府地区の魅力について話し合い、共有する。</li> </ul> <p>○2学期の活動について見通しをもつ</p>	<p>○それぞれの活動で行ってきた振り返りもふまえて、児童一人一人が感じた海府地区の魅力を改めて確認し、整理していく。</p>
20 21 22 23 24	<p>○シーカヤック体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヤックに乗るための事前指導。</li> <li>・海府地区の海で遊ぶことで、海のきれいさ、素晴らしさを感じる。</li> </ul>	<p>□ゲストティーチャー（地域の方）を招き、カヤックの指導に加え、佐渡の海の素晴らしさについてお話をいただく。</p> <p>☆海のきれいさ、素晴らしさを感じ、楽しんで活動している。</p>
25 26 27 28	<p>○たこさびき体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使う道具や方法について学ぶ。</li> <li>・漁の方法を体験し、実際にたこを捕る。</li> </ul>	<p>□ゲストティーチャー（地域の方）を招く。</p> <p>☆地域で行われている伝統的な漁の方法を体験することで、たこを獲る難しさを理解する。</p>
29 30	<p>○親子料理教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊富な魚介類を生かした、料理について知り、調理をする。</li> <li>・海府地区の魚の美味しさを感じる。</li> </ul>	<p>□ゲストティーチャー（地域の方）を招く。</p>
31 32	<p>○これまで体験してきた活動について振り返り、海府地区の魅力についてまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島内外に伝えたい海府地区の魅力は何かを考え、全員で共有する。</li> <li>・それらを伝えるためにできることは何かを考えさせる。</li> </ul>	<p>○一人一人の児童のアイデアを生かしつつ、かるたの製作へとつなげていく。</p> <p>○これまでの活動でお世話になっている地域の方々への感謝の思いを伝えるという視点も大切にする。</p>
33 34 35	<p>○佐渡海府はんがかるたの読み札、絵札の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力を伝えるための絵札や読み札を考える。</li> </ul>	<p>○児童だけでは、全ての絵札、読み札を考えることは難しいため、学校運営協議会の方々等のアドバイスもいただきながら検討を進める。</p> <p>☆活動を通して感じた海府地区の魅力について考えることができる。</p>

36 ～ 60	<p>○佐渡海府はんがかると製作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討した絵札を実際に版画に表していく。</li> </ul>	<p>○どんなことを表現したいのか、児童の思いを大切に、製作を進めさせる。</p> <p>□講師の先生を定期的に招き、作品についてご指導をいただく。</p> <p>☆自分の思いをもって、版画を制作している。</p>
61 62	<p>○保護者の方々と一緒に作品を刷り、鑑賞会をする。</p>	<p>□保護者の方々に、子どもたちの頑張りを賞賛していただき、子どもたちの自己肯定感を育む。</p>
63 64	<p>○保護者の方々との交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成したかるたを保護者の方と実際に遊んで交流をする。</li> </ul> <p>○中学生や教職員との交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学生と職員が力を合わせて作ったかるたの完成を祝い、みんなで遊ぶ。</li> </ul>	<p>□地域の方々に頑張りを称賛してもらうことで、児童の自己肯定感を育む。</p>
63 64 65 66	<p>○ワカメの収穫作業見学</p> <p>○ワカメの標本作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の先生を招き、海藻標本を作製する。</li> </ul>	<p>○地域の特産物であるワカメの海藻標本を制作することで、海府地区の自然の豊かさを知ることができるようにする。</p> <p>□新潟大学佐渡自然共生科学センターの先生を講師に招き、海藻標本の作り方だけでなく、海府地区の海の豊かさ等についてもお話をいただく。</p> <p>☆海藻標本作りに意欲的に取り組んでいる。</p>
67 68	<p>○いごねり作り体験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方を講師に招き、佐渡に伝わる伝統食である、いごねりを作る。</li> </ul>	<p>□地域にお住まいの方を講師に招き、いご草の特徴、食べ方等についてお話をいただく。</p> <p>☆いごねりの作り方について興味をもち、意欲的に取り組んでいる。</p>
69 70	<p>○1年間の活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動について振り返り、海府地区の魅力を確認する。</li> </ul>	<p>○海府地区の魅力を再確認させることで、地域への愛着や誇りへとつなげていく。</p> <p>☆海府地区の魅力について、自分の考えをもっている。</p>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

海府地区の魅力を伝えるための版画製作を通して、地域の魅力について再認識し、表現の仕方を工夫して絵札を描いたり、版画を彫ったりすることができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	・教師の指導・支援 / ☆ 評価の視点 (方法)
<p>○絵札の下絵を完成させる（6時間）</p> <p>C：ニッ亀を描きたいけど、たくさんの観光客が訪れるから、海で遊ぶ人も描こう。</p> <p>C：文字も入れて、より分かりやすい絵札にしよう。</p> <p>C：もっとカンゾウを大きく描いた方が伝わるかな。</p> <p>C：どうすれば、印象に残る絵札になるのかな。</p> <p>○佐渡海府はんがかるとの絵札を彫る（9時間+図工）</p> <p>C：波のかんじを表現したいから、小丸刀で細かく彫っていこう。</p> <p>C：たくさん獲れる魚が地域の魅力で、そこを目立たせたいから、魚を黒にして、周りを彫ることにしよう。</p>	<p>・読み札と照らし合わせながら、その場所や行事などの様子や魅力が伝わるにはどうすればよいのか考えさせる。</p> <p>☆地域の魅力を伝わるように、自分なりの思いをもって絵札を描いている。（作業の様子）</p> <p>・絵札をどのようにして彫ったら、より様子が伝わりやすくなるのかを考えさせながら作業を進めさせる。</p> <p>☆地域の魅力を伝わるように、自分なりの思いをもって絵札を描いている。（作業の様子）</p>



### 3. 今回の活動の自己評価

多くの地域の方々にご協力をいただくことで、児童が体験したことのない活動を行うことができ、これまで以上に主体的な学びへとつながった。

また、海府地区の魅力を発信するために、当初は島外の学校の児童と実際に会っての交流活動を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で叶わなかった。その代替わりとして、今年度は「佐渡海府はんがるた」を製作した。図画工作科との合科的な指導として行い、児童も非常に意欲的に取り組んでいた。また、版画制作が、発信したい地域の魅力について考える機会となり、海府地区の魅力を再認識することにつながった。完成したかるたは素晴らしいものとなり、地域の方々からも称賛された。児童にとっても、達成感や自己肯定感を感じることができる活動となった。

児童は活動を通して、地域の方々と多くかかわってきたことで、海府地区の魅力だけでなく「地域の方々の温かさ」を感じることができた。それにより、郷土愛もさらに育まれていったように感じる。

その一方で、予定する体験活動が多く、事前の調べ学習の時間等が十分にとれていなかった。児童の追究意識や問題意識といった観点をより重視して、単元を計画していく必要があると感じる。

### 4. 今後の課題

今年度多くの体験活動を行うことで、海府地区の魅力を再発見することができた。今後は、地域コーディネーターや学校運営協議会の方々とも相談をしながら、新たに地域の魅力を体験できる活動はないか検討をしていく。

また、今回は「佐渡海府はんがるた」を製作することで、海府地区の魅力を発信したが、今後どのようにして発信していくのかは検討が必要であると感じる。

「3. 自己評価」で述べたように、児童の思いや問題意識を大切にして単元を構想し、より一層児童の郷土愛を育めるよう取り組んでいきたい。

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特にありません。

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。